

科目区分	社会医学系クラスター		
授業科目名	SASを用いた統計プログラムの書き方と実践		
担当者名	野村 恭子	配当年次	1年次
単位数	2単位(選択)		
授業形態	実習	実施場所	インターネット接続環境下
開講期間	2023年4月下旬～2024年1月31日まで		
開講曜日・時間	オンディマンド		
授業の概要・到達目標			
授業の目的:医学学術分野で広く普及している統計プログラムSAS(Statistical Analysis System)を用い、統計プログラムを実際を書いて、データを解析し、数値の結果を解釈する。 授業の到達目標:演習を通して、臨床疫学および医学統計の方法を習得し、実践することを目標とする。 授業の概要: 統計ソフトは昨今多種多様で提供されるが、実際に自分でプログラムを書いて理解することで、様々な種類の統計ソフトを自由自在に使いこなせるようになる。これが本科目の狙いである。またSASは医学論文の領域で最も汎用性が高く、研究者からの信頼も厚い。プログラムも無数にオープンになっている。本講座では実践ということで、各種プログラムを自分で書いて、回すことで生物統計の基本的な理解を促進する。またすぐにでも論文ができるように、ロジスティック回帰モデルと線形回帰モデルについて多変量解析までプログラムを実際に回してみる。SASは個人PCへインストールを配布して用いる。			
授業計画			
	講義 (講義内容)	担当教員	講座名
1	データセットの読み込み	野村 恭子	衛生学・公衆衛生学
2	基本的なプログラムの書き方と連続変数と要約統計量	野村 恭子	
3	t検定、one-way ANOVA検定	野村 恭子	
4	相関係数の求め方	野村 恭子	
5	カイ二乗検定、フィッシャーの正確検定	野村 恭子	
6	ロジスティック回帰分析	野村 恭子	
7	線形回帰分析	野村 恭子	
8	生存分析	野村 恭子	
9	マクロプログラムの作り方	野村 恭子	
成績の評価方法・基準			
WebClassにおいて教材視聴および実習30時間＋自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は総視聴時間が全講義時間の半分以上にて行う。			
問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)			
山崎 貞一郎, teiichiro.yamazaki@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
教科書・参考文献:講義録画中にて紹介し、必要に応じて資料を配付する。 自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			